

## 平成 28 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

○陥没の兆候の検知を目的とした空洞探査の精度と日進量の向上に関する実証研究（三菱電機・名古屋市・相模原市 共同研究体）

レーダー波形の解析による空洞検出の自動化、緊急度に基づく絞り込み等による空洞探査の効率化を図るための調査・解析が実施され、一定の成果が得られている。

この技術の確立においては、さらに多くの事例を積み重ねた解析が必要であることからそのための調査をもう一年継続することが望ましい。ただし、一部路線においては、必要なデータを確実に取得できる都市・路線を国総研が選定して実証を行うことが望ましい。